

令和6年5月28日
 子ども・若者部
 保 育 課
 保育認定・調整課

保育施設等におけるベビーセンサー等安全対策支援事業の実施について

1 主旨

昨年末に発生した区内認可外保育施設における重大事故を踏まえ、区内保育施設等における子どもの睡眠時等の安全・安心を確保するための補完的な取り組みを支援するため、ベビーセンサーの購入等に係る必要経費を補正予算に計上する。

2 安全対策に係る物品等の導入状況

(1) ベビーセンサー

導入済み 105施設(39%) **未導入** 166施設(61%)

(2) 小児用AED

導入済み 209施設(77%) **未導入** 62施設(23%)

(3) 室内カメラ(見守りカメラ)

導入済み 129施設(48%) **未導入** 142施設(52%)

私立保育園、認定こども園、地域型保育事業、保育室、保育ママ、認証保育所、認可外保育施設を対象とした実態調査(令和6年3月)の回答による。

3 実施内容

項番	項目	対象施設等 (令和6年4月時点)	補助上限
(1)	睡眠中の事故防止対策に必要な機器(ベビーセンサー) の購入等に係る経費	0 ～ 2 歳児 在籍施設等 (4 8 8 施設等)	合計 2 0 0 万円 / 施設等 (事業者負担なし)
(2)	小児用 A E D の購入等に係る経費	全施設等 (5 0 5 施設等)	
(3)	見守りを目的とした機器 (見守りカメラ等) の購入等に係る経費		
(4)	I C T を活用した子どもの見守りに必要な機器 (I C タグ等) の購入等に係る経費		

ベビーセンサー・小児用AEDを重点的に導入促進するため、項番(3)・(4)の合計補助上限額は100万円とする。

4 対象施設等内訳

区立保育園、私立保育園、認定こども園、地域型保育事業、保育室、保育ママ、認証保育所、認可外保育施設、一時預かり事業(私立保育園)、一時預かり事業(単独施設型)、病児・病後児保育事業

5 所要経費（補正予算分）

歳出額	歳入額		
	国補助	都補助	一般財源
623,975 千円	38,000 千円	329,297 千円	256,678 千円

当初予算では国補助分のみ計上していたが、補正予算において、都補助や上限額見直しによる拡充分を計上する。

< 特定財源 >

（１）国補助

保育環境改善等事業（補助率 1/2 一部対象外施設あり）

- ・睡眠中の事故防止対策に必要な機器（ベビーセンサー） 上限 500 千円
- ・ＩＣＴを活用した子どもの見守りに必要な機器（ＩＣタグ等） 上限 200 千円

（２）都補助

保育所等における安全対策支援事業（補助率 10/10）

上限 2,000 千円 ただし継続実施施設は R5 実績分を除く

6 ベビーセンサー導入促進の取り組み

- （１）ベビーセンサーの導入は、保育従事者による安全確保業務の代替となるものではなく、あくまでも安全・安心な保育環境を確保するための補完として活用してもらうことを周知。
- （２）分かりやすいイラスト等を活用して、ベビーセンサーを導入することによるメリットや効果的な導入事例等を紹介。
- （３）ベビーセンサーのタイプ別の特徴や導入状況等を周知。

【ベビーセンサーのタイプ別特徴と導入状況】

マットタイプ

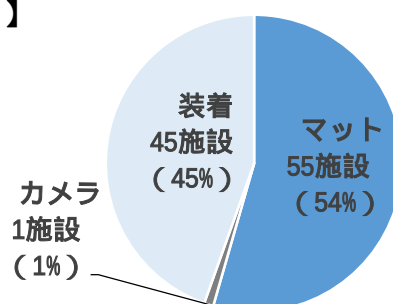
布団等の下に設置

カメラタイプ

保育室の天井等に設置

装着タイプ

子どものおむつや衣服等に装着



実態調査（令和 6 年 3 月）より

7 今後のスケジュール（予定）

令和 6 年 6 月 令和 6 年第 2 回区議会定例会に補正予算案を提案
施設等からの申請受付開始